

風早の本だより

北条高等学校図書委員会

《冬休み号》

平成 25 年 12 月 9 日発行

2 - 3 吉岡 歩
3 - 5 徳永 舞子

長い2学期もあと少しで終わりです。皆さんは冬休みはどうすごしますか？クリスマスやお正月もありますが、この長い休みを使って本を読んでみてはいかがでしょう。長期の貸し出しも、5冊まで可能です。個人の貸し出しカードが2枚目以上の人は10冊まで貸し出しできます。よければ図書室に足を運んでみてください。新しい本との出会いが待っています。

今回の新着図書一番上にある本は校長先生の書かれた本です。図書室にも1冊寄贈していただきましたので、御紹介します。

～冬休み中の図書室の利用について～

- 開館日 12月24日(火) 25日(水) 26日(木) 27日(金)
- 開館時間 9時～15時
- 返却日 1月8日(水)～10日(金)

※3年次生図書返却 1月10日(金)までに！！



新任の先生方のおすすめの本とメッセージ

先生方、ありがとうございました。

町田 一美先生 (教科：英語)

① おすすめの本

書名：「天国に一番近い島」

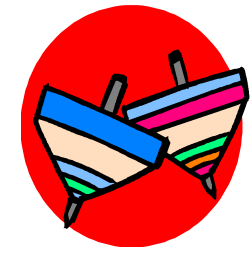
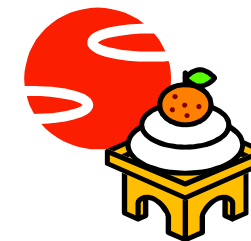
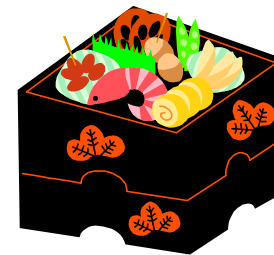
著者：森村 桂

高校1年の時、留学を夢見ていた私が、旅好きの国語の先生の薦めで手にした一冊です。読み始めてすぐ夢中になりました。森村さんの体験記なのですが、特技はお菓子作り、体が弱くてすぐ熱が出たりお腹を壊したり、しかも外国語がまったくしゃべれない森村さんが、ニューカレドニアを訪れ、現地の人達と交流を深めていく様子が、軽快でコミカルに、でも「ハートがあれば異文化の壁は乗り越えられる！」という大切なメッセージを伝えてくれています。とても励みになりました。そして6年後、私も「森村流」を目指して渡米しました。皆さんにもぜひ読んでもらいたい一冊です。

② 北条高校生にメッセージ

私が高校生の頃、どの教科の先生も口をすっぱくして「本を読みなさい。」とおっしゃっていたのを今でも思い出します。「直接的な経験には限りがある。でも、本を読めば、主人公とともに泣いたり、笑ったり、共感したり、反発したり。その過程で、読者自身も成長できる。読書を思いっきりできるのは学生時代の特権だ。だからたくさん本を読みなさい。」と言われました。その時は半信半疑で聞いていましたが、私も自称「読書好き」ですので、いろいろな本に親しむなかで、先生方のアドバイスは正しかったなど、実感することがたびたびです。

北条高校生の皆さん、本をいっぱい読みましょう！！！！



佐伯 朋也先生 (教科：商業)

① おすすめの本

書名：「手足のないチアリーダー」

著者：佐野 有美

『五体不満足』の乙武洋匡さんと同じ、先天性四肢欠損症で生まれた女性の本です。不自由でも、強く明るく生きてきた彼女の笑顔に引き込まれます。「生きるって何だろう?」「幸せって何だろう?」と考えさせられる作品です。

② 北条高校生にメッセージ

会話文が多く、1ページあたりの文字数は少ないので非常に読みやすい本です。歌手としても活動をしているので、歌の方も聴いてみるといいと思います。

(新 着 図 書)